



東北芸術工科大学 教授
エネルギーまちづくり社 代表取締役
株式会社みかんぐみ 共同代表
PASSVE HOUSE JAPAN 理事

竹内 昌義 氏

日時

2022年 5/17 (Tue) 13:30 ~ 16:00

講演

2030年に向けて求められる住宅の性能

- ・建築家・大学教授など様々な顔を持つ建築業界のキーパーソン
- ・これからの家づくりを考え続ける「断熱男」
- ・社会の在り方を見直し、仕組みを変え、新しい暮らし方を提案

欧米を中心とした先進諸国では新築時に太陽光発電の設置を義務化したり、国策として高いレベルの省エネ住宅を推進したりといった状況が活発化しており、日本だけが遅れている状況です。そんな中、日本でも2050年カーボンニュートラルの実現に向け動き出し「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」では省エネ基準の適合義務化について検討を重ね、ようやく建築物省エネ法の改正に向け進み始めました。

世界が「脱炭素社会」を目指し始めた今、設計者やビルダーはエネルギーと住宅性能という不可避な課題に取り組まなければなりません。あらためて地域で住宅をつくることについて考察し、そこに何が求められるか、どう答えるべきかを紐解きます。

1962年生まれ、神奈川県出身。東京工業大学工学部建築学科卒、同大学院建築学専攻修士修了。東北芸術工科大学教授。ワークステーション一級建築士事務所を経て、1995年長野放送会館設計競技当選を機にみかんぐみ共同設立。2001年より東北芸術工科大学にて教鞭をとる。代表作に山形エコハウス、HOUSE-M他。

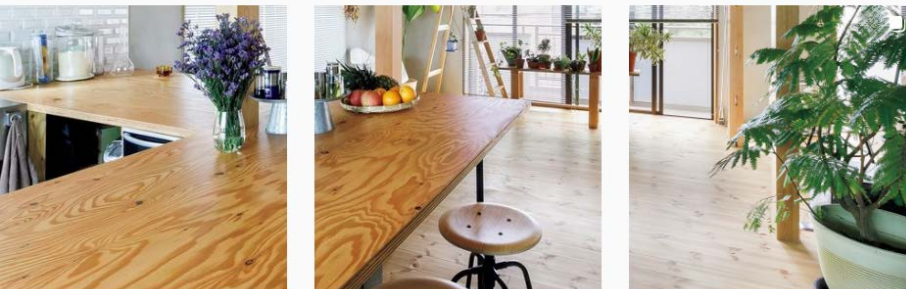


日誌エコハウス



氷見の家

Profile



君島 喜美子 氏

日時

2022年 5/17 (Tue) 13:30 ~16:00

講演

リライフ+編集長が語る！ リノベする人が好む10のコト

- ・マンションリノベ専門誌「relife+」を創刊
- ・SNSでも活発に発信
- ・リノベーションのミライを探求

「タイル」「グレー」「インスタ」「猫」「アウトドア」
 「インナーサッシ」「パントリー&玄関土間」「おしゃれ家電」
 「オープン棚」「ちょい掛けできるフック&ハンガーパイプ」
 10のキーワードから、中古×リノベーションする一次取得層が
 どんな暮らしをしたいと望んでいるのか、
 どんなことを大切にしているのか、
 「relife+ (リライブプラス)」が
 過去に取材した実例の紹介を交えながら、読み解きます。

Profile

1998年扶桑社入社。「ESSE」「皇室」編集部勤務を経て2007年より「住まいの設計」編集部配属。2009年に日本初のマンションリノベーション専門誌「relife+」を創刊。現在vol.44まで刊行されている。公式Instagramも日々更新中。時々編集部のYouTubeにも登場しています。



住まいの設計チャンネル